

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 121 回例会 2023 年 10 月 24 日

●例会場 宮崎大学地域デザイン棟

会長 明石 良 副会長 水光正仁 幹事 梶田竜司

■会長の時間

明石 良 会長



本日の例会は、ガバナー公式訪問であり、まず初めに出席者をご紹介したいと思います。

2730 地区ガバナーでございます池ノ上克先生、ガバナー補佐の長嶺貴臣（たかおみ）様、地区幹事の佐藤嘉信様、そして地区副幹事の長友剛様が出席されております。また、ビジターで宮崎ロータリークラブから本学の学長であります鮫島浩先生、ティティ・ズイン先生が出席されております。ありがとうございます。

さて、改めまして池ノ上ガバナー、お帰りなさい。お待ちしております。いつもガバナーにお会いすると、大丈夫かなあ、疲れてないかなあ、と思いながら拝見しております。でも大丈夫そうですね。よかったです。

先日の地区大会は大盛況で、大懇親会は、本当に大懇親会でした。お疲れ様でした。詳しい内容につきましては、またの例会で話をさせていただきます。

我々宮崎アカデミーロータリークラブは、今年で5年目を迎え、クラブテーマを「原点回帰」として、今一度、設立当時に振り返り、宮崎アカデミーロータリークラブの利点を活かして、他のクラブにない特徴的なクラブを目指していきたいと考えております。

その甲斐があって、1つハッピーがありました。クラブの活動の一つとして、人道支援「アフガニスタン、ミャンマー、ウクライナの元留学生等への支援」が平和特集にふさわしいとのことで、来年2月号の「ロータリーの友」に掲載されること

が予定されました。勢井委員長を初め、農学部、国武学部長および関係教員の方がたには、この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。なお、掲載原稿に関しては、理事会での了解

を得て、勢井委員長を中心に準備を進めて頂こうと考えております。

今回の件は、池ノ上ガバナーの地区スローガンである「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」に、僭越（せんえつ）ながら少しばかり貢献できたかと思っております。

本日は、短い時間ですが、大いに楽しんで頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

■幹事報告

梶田竜司 幹事



・10月20～22日に開催されました国際ロータリー第2730地区大会についてお礼状が来ております。又、この大会で2022-2023年度マイロータリー登録100%の1位で表彰状を頂いてきました。皆様有難う御座いました。



・10月29日日曜日に開催される「アフガニスタンの現状」コロキウム part2 について、本会員の隈元正行氏、國武久登氏がパネリストとして登壇されます。宮崎大学創立330記念交流会館で13時からとなっておりますので参加の程宜しく願い致します。又、スタッフの方もまだ人数が足り

ないようですので宜しくお願い致します。

・10月28日土曜日に開催されます九州4地区合同公共イメージ向上事業が10時～18時まで高千穂通りNMビルオーロラビジョンで放映されます。又、13時～18時まで若草通りの「かいハット」近くにエンドポリオ募金活動ブースを設置します。

・国際ロータリー2730地区クラブ活性化セミナーを開催します。12月2日土曜日10時受付で15時30分までです。場所は鹿児島青少年研修センターで、対象者はクラブ会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクト、戦略計画委員長、その他希望する会員です。出欠の確認は11月2日迄です。

・2023-2024年度第1回宮崎アカデミーRCゴルフコンペを12月23日土曜日に行います。場所は国富町六ツ野原の宮崎ゴルフクラブ(丸五)です。8時30分集合3組12名を予定しております。12月8日までに連絡お願い致します。

■各会員からの報告

○クラブ管理・増強委員会

安田文彦 委員長



- 1 出席報告について
会員数40名、本日欠席者数23名、
本日出席者数17名、出席率
57.50%

○公共・奉仕プロジェクト委員会

勢井由美子 委員長



ロータリーの奉仕について。

ゴールドマッキナリー氏が、世界に希望を見いだそうと出されています。そして平和構築の必要性をますます思います。私達に出来る平和とは、まず家庭の平和、ご近所との平和、そしてクラ

ブ内の平和です。これ無しに世界平和は叶いません。その為には、心の目や耳を働かせることが大事になります。クラブ員の弱さ、辛さ、悲しさにそっと寄り添う中でクラブ員同士の信頼関係が強まり、いざ何かのクラブ奉仕となった時、各自に出来ることを無理の内範囲でやれるクラブへとゆくと考えています。そのような積み重ねがあってこそその平和構築だと思います。

■ガバナーアドレス 池ノ上ガバナー

国際ロータリー2023-2024年度ガバナーの池ノ上克(つよむ)です。私は昭和21年1月に鹿児島市内で生まれました。生後3ヵ月の時、父の仕事の関係で移住した長崎県で高校までを過ごしました。昭和39年に鹿児島大学医学部に入学し、市内の西千石町にあった母の実家から通学をつづけ、昭和45年に卒業しました。その後は鹿児島市立病院の産婦人科に勤務していました。その間3年半はカルフォルニアの大学での周産期医学の勉強のために留学しましたが、合計26年間の鹿児島生活を送ったこととなります。平成3年に縁あって当時の宮崎医科大学産婦人科に赴任しましたが、それ以来宮崎で仕事を続けています。

この度山ノ内文治直前ガバナーの後を受けて、国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

新たに国際ロータリーの会長に就任したスコットランドのゴードン マッキナリーさんは、今年度の国際ロータリーのテーマを「Create Hope In The World:世界に希望を生み出そう」とされました。アメリカのフロリダ州オーランドで2023年1月8日から12日にかけて行われた国際ロータリー協議会の初日の講演で、このテーマが力強く宣言されると、会場につめかけた世界中のロータリー関係者はスタンディングオベーションでこれを受け止めました。

講演の中で、ゴードン マッキナリー会長は、2004年に東南アジアを襲った大津波の時、被害を受けたタイの村で、ロータリアンとして復興作業

に当たられたそうです。全てを失って憔悴した老婦人から、「皆さんの作業を見ていて、生きる希望がわいてきました。お礼に私が 30 年来大切にしてきたものを差しあげます」といって美しい貝殻を渡されたそうです。その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がったと説明されました。そしてテーマとなった「世界に希望を生み出そう」の言葉もそこから生まれて来たのだそうです。

さらに、マッキナリー会長は希望を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるもので、私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇氣が必要であるとも強調されました。

自然災害や戦禍にみまわれ、つらい思いをしている世界の人々にとって、希望を生み出すことの大切さが強調された講演でした。幸いにもその時会場に居合せた私はとても感動してお話を聞くことができました。

ゴードン マッキナリー会長の RI のテーマを受けて、私たちの国際ロータリー第 2730 地区の今年度のテーマは「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」としました。また、基本方針はロータリーの「継続と変化」および「メンタルヘルスへの取り組み」の 2 本柱としました。

ロータリーは継続と変化を基本にして、常に前に進んでいます。私たちの地区の各クラブや各グループの活動も継続と変化およびメンタルヘルスの維持を基本に、ガバナー補佐の方々との連携を密にして、それぞれに独自の形で進めていただきたいと期待しています。

継続と変化の対象になる主な項目には、ローターアクトクラブとの協力体制の強化、女兒のエンパワーメント、DEI の推進、ポリオ根絶などが挙げられます。

そしてその行動計画の実行については、各クラブやグループのこれまでの経緯と成果があると思われしますので、それを引継ぎながら、最近の社会的変化に応じた活動を目指していただきたいと思います。クラブが独自に計画して実行しておられるプロジェクトや、米山記念奨学会への寄付、青少年育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の

強化、社会奉仕の実践などが含まれます。ロータリー賞獲得への積極的なチャレンジも期待したいと思います。

メンタルヘルスへについては マッキナリー RI 会長がロータリーに向けて初めて示された取り組みです。RI2730 地区としても活動を始めたいと思います。自分自身や社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見を無くし、同僚や親しい人に何か心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇氣をお互いに持ちたいと思います。メンタルヘルスの健全性とその維持は希望を生み出す原点となるものです。

皆様のご支援をいただきながら、2023-2024 年度は平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフにしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



宮崎アカデミーロータリークラブ
事務局 〒880-0806
宮市広島1丁目3-3 秀豊ビル4F
TEL 0985-22-6767 FAX 0985-22-9170